

令和6年度(前期) 研修・セミナー予定表



沖縄産業保健総合支援センターでは、産業保健に関する基礎的、専門的、実践的な研修・セミナーを開催しています。受講ご希望の方は、当センターホームページよりお申込みください。

↑↑↑
当センターホームページ
はこちらから

【対象者】事業主、産業保健看護職（保健師 看護師）、衛生管理者、人事労務担当者、安全衛生担当者、労働者 ※働いている方を対象としています。

【その他】

- ・研修形式は、オンライン形式と集合（対面）形式があります。お申込みの前に、ご確認ください。
- ・申込締切
 - オンライン形式の研修：研修日前日13時 ※状況により、早めに締め切る場合があります。
 - 集合（対面）形式の研修：会場の定員に達した時点
- ・配布資料について
 - 配布資料が無い場合もございますので、予めご了承ください。
 - オンライン研修の場合、配布資料がある場合のみ、研修日当日のお昼前後に当センターホームページに掲載いたします。
- ・お申込み後に、受講できなくなった場合は必ずご連絡ください。
 - キャンセルのご連絡：ホームページの「申込取消フォーム」又は お電話（098-859-6175）にてご連絡ください。
- ・お申込みの際にご入力いただきました個人情報は、本会における受講者名簿作成のために使用する他、当センターが行う研修・セミナーなどのご案内に使用させていただく場合があります。
- ・台風などの自然災害発生時には、研修中止となる場合があります。研修開催の有無について、最新の情報を当センターホームページにてご確認ください。

「研修形式」
をご確認
ください。

↓↓↓

NO	日 時	研修テーマ	研修内容	講師	研修形式
13	5月23日(木) 15:30~17:00	職域における熱中症の効果的な予防方法	熱中症予防のためには事業場サイドの対策だけでは不十分です。生活習慣改善の必要性と事業場における対応策にも言及します。さらに、救急対応についても解説します。	平山 良克 産業保健相談員 (産業医学)	オンライン形式
14	5月24日(金) 15:00~16:30	職場のメンタルヘルス対策をどう整備していくか	職場のメンタルヘルス対策として様々な取り組みが考えられるが、何を優先して取り組むべきか、その時に注意するポイントなどを解説する。	西尾 彰泰 産業保健相談員 (メンタルヘルス)	オンライン形式
15	5月28日(火) 15:00~16:40	対人支援職のための燃えつき予防・GRACEプログラム(I) ※原則として、GRACEプログラム(I)~(III)全てのプログラムを受講してください。	GRACEは、アメリカの人類学者J. ハリファックス老師により開発された、コンパッションを育み人生の困難を乗り越えるための実践的メソッドです。脳科学・心理学・倫理学・禅・マインドフルネスを統合した医療・看護・教育・企業人材を含む対人支援職のための燃えつき防止プログラムを講義と演習で学びましょう。 講義1:コンパッションとは？ 日常におけるマインドフルネスとセルフ・コンパッションの重要性 演習1:注意を集中させる:グラウンディング、地に足をつける。 コンパッションを支えるマインドフルネスの基本と慈悲瞑想	笹良 剛史 医師・公認心理師	集合(対面)形式 305室
16	6月4日(火) 15:00~16:30	労働衛生管理担当者のための労働衛生法令	職場の健康診断と安全衛生管理体制等、関係する労働衛生法令について説明します。	前里 久誌 社会保険労務士	オンライン形式
17	6月13日(木) 14:00~15:30	あなたの話が伝わらないただ1つの理由	衛生管理者や産業保健職は労働衛生の向上のため、職員に懸命に語りかけていると思う。そんな中「いつも伝わらない」「また伝わらなかった」とフラストレーションを感じていることだろう。大切なことをよりよく伝えるにはどのような工夫をすればよいだろうか。参加者の経験から「伝わる話のメカニズム」「伝わらない話のメカニズム」を紐解き、しっかり伝えるための重要な一手を、参加者同士の対話の中から見つけ出す。	北原 佑介 たのはたらポ 産業医	集合(対面)形式 305室
18	6月25日(火) 14:00~16:00	職場で取り組む治療と仕事の両立支援 ~がんの事例を通して治療と仕事の両立支援の実際を知ろう~	●治療と仕事の両立支援の進め方・対応の実務 ・ガイドラインの様式を使って、「勤務情報提供書」「職場復帰プラン」を実際に作成してみよう。 ●治療と仕事の両立支援について理解しよう。 ・治療に関する情報収集の方法、主治医意見書の確認のポイント等、医療機関との連携を図るには。 ・治療と仕事の両立支援のための環境整備、有効な制度、留意点等	金城由紀子 産業保健相談員 (両立支援)	集合(対面)形式 310室
19	6月28日(金) 13:30~16:30	「治療と仕事の両立支援」事例検討会及び交流会 ※メンタルヘルス不調者の職場復帰支援事例について	治療と仕事の両立支援の事例を通して多職種の役割や支援方法を学び実践に活かしてみませんか。講演と事例検討(グループワーク)の後、参加者同士の交流会を行います。 ※対象:両立支援コーディネーター及び実務で関わる方がいる方	西尾 彰泰 産業保健相談員 (メンタルヘルス)	集合(対面)形式 302室
20	7月3日(水) 14:00~15:30	内科医が取り組む産業メンタルヘルス	長時間労働面談、メンタル疾患からの復職支援に関しての経験、コツを紹介したいと思います。	田名 毅 産業保健相談員 (産業医学)	オンライン形式

裏面に続く ▶▶▶

NO	日時	研修テーマ	研修内容	講師	研修形式
21	7月9日(火) 15:00~16:40	対人支援職のための燃えつき 予防・GRACEプログラム(Ⅱ)	講義2:社会心理学と脳科学から見た共感と慈悲 演習2:動機と意図を思い起こす 演習3:自己と他者の思考・感情・感覚に気づきを向ける 対象:原則、GRACEプログラム(Ⅰ)を受講された方	笹良 剛史 医師・公認心理師	集合(対面)形式 304室
22	7月24日(水) 14:00~15:30	精神障害の労災認定基準の 改正と労災予防	2023年9月に改正された精神障害の労災認定基準について解説すると共に、労災を予防するための職場のメンタルヘルス活動の進め方についてお話しします。	山本 和儀 産業保健相談員 (メンタルヘルス)	集合(対面)形式 310室
23	8月5日(月) 14:00~15:30	交替制勤務の睡眠健康管理	夜勤などのシフトワークで生じる交代制勤務障害(SWD)は心身に悪影響をもたらす。SWDを含めた睡眠リズム障害の予防と対策について概説する。	普天間 国博 産業保健相談員 (メンタルヘルス)	オンライン形式
24	8月6日(火) 13:30~15:00	安全な職場づくりのために、 事業者が知っておきたいこと(Ⅰ) 労働安全衛生法による 事業者責任とは 労働者の遵守事項とは 安全配慮義務とは	労働安全衛生法による事業者責任、労働者の遵守事項を安衛法の条文から、基本的な内容について説明します。また、安全配慮義務については、違反とされる場合に適用される民法の条文、違反事例により、基本的な内容について説明します。 ※令和6年度(後期)開催予定 安全な職場づくりのために、事業者が知っておきたいこと (Ⅱ) 第14次労働災害防止計画のポイント / (Ⅲ) 職場巡視のポイント	菅原 稔 労働安全コンサルタント	オンライン形式
25	9月10日(火) 15:00~16:40	対人支援職のための燃えつき 予防・GRACEプログラム(Ⅲ)	講義3:利他と自利:崖に立つとき 演習4:何が真に役立つか熟慮する / 演習5:行動を起こし、終わらせる 対象:原則、GRACEプログラム(Ⅰ)(Ⅱ)を受講された方	笹良 剛史 医師・公認心理師	集合(対面)形式 302室
★ 26	7月19日(金) 15:00~16:30	化学物質の自律的な管理と作業 環境管理	★ 新たに加われました。 労働安全衛生法の改正により従来の法令順守型から自律的な管理へと変わった概要を説明する。またリスクアセスメントの進め方を説明し、「デジタル粉じん計」や「検知管」等の測定機器を実際に用いて使い方を説明します。	狩俣 栄作 作業環境測定士	集合(対面)形式 310室
★ 27	9月9日(月) 15:30~17:00	裁判事例に学ぶトラブル防止の ための法律実務	★ 新たに加われました。 近時、使用者・産業医が訴訟において被告となるケースも多いことから、裁判事例をもとに、使用者がトラブルに巻き込まれないようにするための対応などについて学びます。	内田 光彦 弁護士	集合(対面)形式 310室

オンライン研修受講について

<事前準備> ※インターネット通信にかかる費用は、受講者負担となりますのでご了承ください。

- (1) インターネットに接続できるPC等の端末、マイク、カメラ、スピーカー、メールアドレス。

<申し込み> 当センターホームページの申込フォームを送信後、「自動応答メール」にて以下の内容が受講者に届きます。

- (1) 招待リンク(研修参加URL)/ミーティングID/パスワード/配布資料パスワード
(2) **申込締切** **研修日前日 13時** ※状況により、早めに締め切る場合があります。

<配布資料について>

- (1) 配布資料がない場合もございますので、予めご了承ください。
(2) 配布資料がある場合(研修受講の方に限り配布)、
研修日当日のお昼前後に当センターホームページ(申込をした研修の欄)に掲載いたしますので、印刷してご準備ください。
配布資料の印刷後、データの保存はしないようご注意ください。

<当日> ※研修開始10分前から、入室のご案内をします。

- (1) ZOOM参加(表示)名
入室の際は、下記の表示方法(ひらがな)でご入室ください。※申込フォームにて入力していただいた ひらがな名 です。

名字ひらがな + (名前の最初の文字) 例: 沖縄 花子 → おきなわ(は)

※申込者名簿にて、受講申込者ご本人確認をさせていただいた後、入室のご案内をしております。
ご本人確認ができない場合は、ご案内に時間がかかる場合があります。

※**ご注意**: “申込者ではない名前”で表示されるケースがあるため、事前にご自身でZOOM上の登録名をご確認下さい。
例: 「iPhone」、「PC-N0.1」、「・・・責任者」等

※**ZOOM表示名の変更が困難な方は**、当センターまでご連絡ください。TEL: 098-859-6175

(2) 受講時のWEBカメラについて

受講に際し、なるべくWEBカメラをオンにご参加ください。

グループワーク、事例検討会、交流会または講師からの要望がある場合は、必ずWEBカメラをオンの状態でご参加ください。

<禁止事項>

- (1) 研修資料の二次利用(無断でコピーを取り配布、SNSへの掲載等)
(2) 研修参加URL、ミーティングID、パスワードの第三者との共有
(3) 研修内容の撮影・録画・録音